

皆さま、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年ようやくこのニュースレター「シキよまんば」を発行するに至りました。もちろん自分一人だけで出来たわけではなく、多くのご助言、ご助力によってたどり着くことが出来ました。

公認会計士山崎隆弘事務所のみなさん、文章講座で共に学んだみなさん、協力を惜しまない社員の方々にこの場を借りてあらためてお礼申し上げます。



- おかげさまで、たくさんの方からお褒めの言葉
- 葉や励ましの言葉、期待の言葉をいただき嬉しいです。
- い限りです。

粘土の製造元として産地で伝統を守るという点においては、安定供給がわれわれの使命の一つと考え、土づくりの基本は祖父の代から変えることなく、品質維持に努めてきました。

宅配便で粘土をお届けするお客さまの数は増え、その

方々からの売上は前期を上回りました。本当にありがとうございます。

粘土や釉薬についての問

い合わせも増え、現場で起こっている問題点などに対して、私自身の知識や経験がお役に立てるのだということを実感できるようになりました。さらに問題解決が



今年もよろしくお願いいたします



陶土屋さん 5代目社長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/fuchinonaoyuki/>



できるような情報発信や商品開発を進めていきたいと思っているしだいです。



陶磁器産業全体としては、日本国内どこも厳しく、衰退傾向に歯止めがかからないようです。有田・波佐見など、この地区のやきものの生産量は最盛期の五分之一になってしまっています。そんな中であって、地元以外からのご注文が毎年増え続けている状況には感謝の念が絶えません。ありがたいかぎりです。

今後は、ホームページのアクセスアップなどを図りつつ、広く当社を知ってもらい、自らのスキルを磨く努力を怠ることなく、これまで以上にたくさんの方の役に立つ一年にしたいと思います。あらためまして今年もよろしくお願いいたします。 瀧野直幸



●お正月の出来事●

1月2日、母方の祖父母の長寿祝いを兼ねて親戚が集まりました。祖父が今年で満90歳に、祖母が満87歳になります。二人が元気なうちに、一堂に会する機会を叔父が作ってくれました。3人の欠席は残念でしたが、母の兄弟姉妹とその子、孫、総勢37名での宴会でした。

高校2年のうちの長女を筆頭に、生後5カ月の赤ちゃんまで、祖父母からみて曾孫が13人。その子たちのために、なんとお年玉を用意してくれていました。ありがとう！じいちゃん・ばあちゃん。まだまだ元気で長生きしてください。



↑ 12人のひ孫に囲まれた祖父母 (一番小さな赤ちゃんはお昼寝中でした)

ちなみに最初に買ったのはコレ↓

↑ 2枚目はコレ

今年はお気に入りのCDを紹介したいと思います。これを買ったのは、たしか高校2年の終わり。ひと月8000円の自分の小遣いで買った3枚目のCD。当時、洋楽のCDは1枚3200円。

このガンズアンドローゼスのデビューアルバムは20年前のもので、今聞いてもやはりいい懐かしいどころかエネルギーが湧いてくる。年々若者も燃え尽きます。

研ぎ澄まされたロックンロールと破壊的なパンクが融合したとも言われる、野性的でありながらも印象に残るメロディ。その音楽のスタイルのみならず、ボーカルのアタリと代表される彼らのファッションの名盤です。

瀧野直幸

Appetite for Destruction
GUNS 'N' ROSES

NEW

さがべん
佐賀弁講座* Vol.3

私たちが普段使っている方言を伝授します!!

●ちゃーがつか 意味: 恥ずかしい
佐賀弁の王道です!!
例: 人前で歌うとは、ちゃーがつか!!
(人前で歌うのは恥ずかしい!!)

●きゃーなえた 意味: 疲れた
ちなみに、疲れるは『きゃーなゆつ』 疲れそうは『きゃーなゆつたー』と言います!!
例: きゅーは、がばい きゃーなえた~
(今日はとても疲れた)

●うーか 意味: 多い
少ないは普通に『少なか』です!!
例: この店は人間のうーかね~。
(このお店は人が多いね~。)
ここで出てきたように、人を人間と言うところが佐賀以外にもあるのか分かりませんが、福岡の方からこれに驚いたと聞きました。

会長さんの昔話

第4話

昔、天草から船で塩田の港に運ばれてきた陶石は、荷降ろし後、馬車でわれわれの工場へ持ってきていました。港へ石を取りに行くのも馬車、出来た粘土を配達するのも馬車です。

私が小さい頃、父が馬車で配達をしていました。一回に持っていく粘土はたしか2000斤(1200キロ)。荷車を引っ張る馬の手綱を持って一緒に歩いて行っていたそうです。ここから約20km離れた有田への配



↑ 大正時代の港近くの様子

達は朝5時に、約30km離れた伊万里へは朝の3時に出発。有田行きの場合、有田の手前の岩峠を、伊万里行きは大川内山の坂を、それぞれ朝の涼しい時間に登るためです。帰りは空になった荷台に寝ていても、無事に家まで連れて帰ってくれていたと父は

言っていました。馬も賢いものです。

世の中に自動車が普及し始めると、馬車の仕事であった陶石の運搬と粘土の配達を、トラックを持った運送業者さんに委託するようになりました。私たちがお願いしていたのは(有)塩田運送さん。この頃から今に至るまで、現在の古川社長のおじいさんの代



→ 昭和40年代、船からの陸揚げの様子

からのお付き合いです。

昭和37年12月、高校3年の冬に私わが家で初めて自動車の運転免許を取りました。すぐさま父は中古の四輪軽自動車を買いました。高校卒業後の4月には2トンの貨物の三輪車に買い換え、それからのおよそ4年間は運送業者さんに代わり、自分たちで港へ陶石を取りに行き、粘土の配達も私がする日々が続いていたように思います。

船が入港すると、すぐさま陶石の運搬です。40トンほどの陶石を手で積み、持ち帰るとまた手で降ろしていました。朝早くから夕方遅くまで、港と工場の間を一日13往復して運んでいました。その当時、道路はもちろん舗装なんてされていません、砂利道です。

その後、生産量が増えるにつれ配達は自分たちで行い、陶石の運搬はわれわれよりトラックが大きかった運送業者さんに再度お願いするようになり、やがて船から10トンの大型ダンプでの陸送へと変わり、塩田港は閉港となります。

淵野 義則



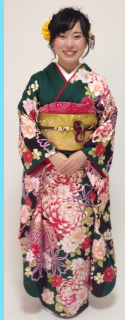
↑ 現在の陶石の入荷の様子

じゃりんこミホの 見ている風景

毎号
拡大中!?
その4

成人式を間近に控えた12月28日。顔の皮がはがれるという悲劇が…(泣) その上、皮膚科はすでに正月休み。このままじゃ当日お化粧が出来ない!! タイムリミットが迫る中、夜更かしと3日坊主の自分を改め、早寝と保湿を繰り返し、なんと以前よりツルピカリンに!!ギリギリ間に合いました…。

1月4日。この日が地元白石町の成人式。心配していた天気は、前日までの雨の予報。それがこの日の朝、くもりの予報に変わり、式が始ま



きんぎょさん(左)とじゃりんこミホ(右)

↓ 会場にて、夜通し!!



日差しがまぶしい!!

る午後には、太陽がまぶしいほどの晴天に!! 日頃の行いが良いということかな(*^_^*)

当日は5時起床、6時半から隣町的美容室で髪セットとメイク。その後、さらに離れた佐賀市内まで移動し、振袖のレンタルをしたお店で着付けと撮影。朝からバタバタでした(>_<)

移動した会場で、久しぶりに再会した同級生たちは、綺麗になった人やイケメンになった人がたくさんいました!! でも、激瘦せして「誰っ!?!」という人も

いてビックリ!!

慣れない着物と睡魔に戦いぬいた式のあとは、懐かしい面々との記念写真大会!! これでもかというほど撮りました(笑)

家に帰り、夜からの同窓会に行くために洋服にチェンジ。帯がずっと苦しかったので、やっと開放される一!!という気持ちと、せっかくの振袖を半日も経たずに脱ぎたくない!!という気持ちがゴチャゴチャになりつつも着替えました。「あーあ、もったいないねえ」という祖母の声を背中で聞きながら…。

同窓会では、ほとんどの人が5年ぶり。外見は変わっても、中身はみんな



変わらないな。…とと思っていましたが、1時間も経つと、人が変わったように酔っぱらいだし、お酒って怖い!!と本気で思いました(ー;)

ちなみに私は最後までシラフだったので酔って何か失敗した、というような面白いエピソードはないです(笑)

次の日、「あんたの晴れ着姿を見るとは、次は結婚式かな?」と祖母。…ばあちゃん、いつになるか分かんよ(泣)

吉村 美穂

♪ ブログも Check!! ♪

じゃりんこミホの見ている風景

<http://ameblo.jp/toudoyasan-jarinko/>



編集後記

あけましておめでとうございます。新年早々、風邪をひきました。寒いので、みなさんもお体に気をつけて下さいね!! 吉村

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要ない方は、たいへんお手数ですがその旨を下記までご連絡ください。

有限会社 淵野陶磁器原料

〒 849-1426

佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1

TEL 0954-66-4207

FAX 0954-66-3747

E-mail info@fromform.jp

HP <http://www.fromform.jp>

